

第19回

戦国絵巻

—明智を語る—

秋月の宵・筑前琵琶演奏会

演奏

田中旭泉

酒井旭粹

客演

浄瑠璃太夫

伊藤 麻里

三味線

豊澤 龍太

演目

【筑前琵琶】 橘流 湖水渡

【素浄瑠璃】 絵本太功記十段目 尼ヶ崎の段

【筑前琵琶】 橘流 小栗栖

古典の日
古典に飽かれて

日時●令和3年10月18日(月) 午後6時開場／午後6時30分開演(午後8時終演予定)

場所●中山道ひし屋資料館母屋

駐車場：大井小学校駐車場(臨時)

※観客席は畳あるいは板敷きですので、座布団等をお持ちいただくことをおすすめします。

チケット代●1,000円／高校生以下無料(入館料込み60名まで)

【販売期間】9月17日(金)～10月11日(月)※前売り販売のみ、当日券の販売はありません。【販売場所】恵那市役所生涯学習課、中山道ひし屋資料館、恵那文化センター

問い合わせ●恵那市役所生涯学習課 ☎509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1

TEL 0573-26-2111(内線477) FAX 0573-26-2189 E-mail syo-gakusyu@city.ena.lg.jp



中山道ひし屋資料館

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町60番地1 TEL/FAX 0573-20-3266

主催●恵那市・恵那市教育委員会 後援●古典の日推進委員会



演目(解説)

湖水渡(こすいわたり)

【筑前琵琶】

明智光秀の一族、明智左馬介光俊は、光秀が天王山の戦いに敗れたと聞き、その様子を探るため大津の宿にさしかかります。その時、敵の大軍と出会った光俊は、ここを最後と奮戦し、敵の浮き足立ったところあいを見て、名馬大鹿毛(おおかげ)とともに近江の湖に飛び込み、人馬一体の見事な妙技を見せます。敵も味方もその様に酔いしれ、光俊は乗馬の名手として名声を馳せるのでした。

第19回

秋月の宵・筑前琵琶演奏会



明智を語る

戦国絵巻

絵本太功記十段目 尼ヶ崎の段

【素浄瑠璃】

光秀家族の物語。光秀が主君織田信長を本能寺で討つたことで、光秀の母皐月は息子の謀反に怒り、尼ヶ崎の庵室に籠ってしまいます。父光秀を討とうとする羽柴秀吉と父との合戦が近いのを感じた光秀の嫡男十次郎は討死覚悟で初陣の許しを得るため祖母皐月に請います。

十次郎の許嫁初菊は必死に止めますが、十次郎の決心は固く戦場へと旅立ちました。

その晩、竹やぶから秀吉を追って光秀が閑居に忍び込み、人影を秀吉だと確信し竹槍でひと突きにしました。止めを刺そうと引きずり出したその影は…。

小栗栖(おぐるす)

【筑前琵琶】

天正十年六月二日、本能寺にて織田信長父子を自害に追いやった明智光秀は、都に明智家の家紋水色桔梗の旗をたて、天下を取った証とします。

一方、中国攻めの最中に本能寺の変を知った羽柴秀吉は、主君の仇を討とうと引き返し、光秀軍と天王山にて六月十三日相対峙します。明智軍は破れ、長岡京の勝龍寺を経由し近江の坂本城まで落ち延びようとしています。途中、小栗栖にて野武士に囲まれ、場数巧者の勇将も中村長兵衛の竹槍に突かれ負傷し、落馬します。

光秀は気を鎮めつつ辞世の詩を詠み自害をします。進士作左衛門(しんしきぐさもん)、比田帯刀(ひだたてわき)ら忠臣も、光秀と共に生涯を遂げ、天下も夢と覚めました。

客演 profile

浄瑠璃太夫

伊藤 麻里 ITO Mari



【略歴】

○昭和49年/中津川にて出生。○昭和59年/中津川文化会館子ども歌舞伎講座。絵本太功記 尼ヶ崎の場 皐月役で初舞台以降令和2年まで役者として舞台上に立ち続けている。○平成25年/中村高女師匠指導の加賀家6団体へ振付補助(見習い)。○平成27年/にしこまの森(当時は西保育園)の歌舞伎教室で指導をはじめ。中津川義太夫教室にて竹本団勇師匠に師事する。○平成29年/中津川保存会、常盤座保存会にて振付指導をはじめ。○平成30年/坂本公民館子ども歌舞伎講座で指導をはじめ。○平成29年/技術向上のため振付師岩井小紫師匠(京都府)に師事する。○令和3年/恵那歌舞伎保存会にて振付指導をはじめ。

平成29年に太夫として初舞台。以降地元の歌舞伎、文楽をはじめ、市川少女歌舞伎(東海、関西、北陸)の太夫として活躍。三味線の相方の豊澤龍太と平成22年に結婚し、夫婦で舞台上に立つ。

演奏 profile

筑前琵琶

田中 旭泉 TANAKA Kyokusen



【略歴】

○昭和45年/福井にて出生。○昭和51年/琵琶の収集家であった祖父の影響を受け、矢吹旭津美師匠に琵琶を習いはしめる。○平成4年/矢吹旭津美師匠他界後、山崎旭華師匠(重要無形文化財保持者)の直弟子となる。京都にていつ美會を主宰。琵琶奏者の登竜門となる「第三十回琵琶楽コンクール」にて最年少優勝。文部大臣奨励賞、日本放送協会会長賞など受賞。○平成5年/筑前琵琶日本橋会師範免状取得。○平成7年/大阪文化祭奨励賞受賞○平成8年/咲くやこの花賞受賞○平成11年/フランス・ドイツ公演(NHKインターナショナル・フランス日本文化会館・ドイツ日本文化会館主催)○平成13年/拠点を京都から岐阜に移し、芸道の研鑽を重ねる。今までに、小川旭典 師匠、山下旭瑞 師匠、箕浦旭声 師匠の稽古も受ける。古典の日 フォーラムなど多数出演。娘 旭芽・息子 自然との親子共演も好評を博している。

中山道ひし屋資料館

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町60番地1
TEL/FAX 0573-20-3266

新型コロナウイルス
感染拡大防止に
努めて開催します。



●新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めて開催しますが、状況により内容を変更したり中止する場合があります。最新の情報は市ウェブサイトよりご確認ください。